

平成 30 年 11 月 16 日

瀬戸内市議会議長

原野 健一 様

瀬戸内市議会議員 布野 浩子

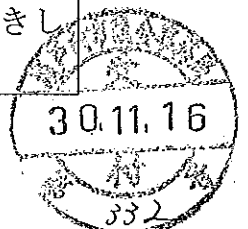
瀬戸内市議会議員 原野 健一

瀬戸内市議会議員 小野田 光

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期間	平成 30 年 10 月 18 日 ～ 平成 30 年 10 月 19 日
研修会名	① 議会改革注意点と議会・議員の未来 (講師：地方議員研究会 高橋伸介 氏) ② 鳥獣被害対策について (農林水産省) 多面的機能支払交付金制度の充実について (農林水産省)
開催場所	① TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター ② 農林水産省
研修目的・内容	① 議会改革注意点と議会・議員の未来について ② 鳥獣被害が拡大している瀬戸内市の現状と対策について 多面的機能支払制度をどう拡大できるかについて
所感	① 講師の高橋氏の話は、実際議員を経験され、副議長までされているので、とても理解しやすく面白かった。 憲法、自治法から見る議会、議員として、しっかり地方自治を理解する必要があると感じた。また、2040 年人口減少問題の資料を頂いたが、瀬戸内市は岡山県下でほかの自治体と比較すると、減少が緩やかで、市としてまだ可能性があると思われていることがわかった。自然の成り行きだからというのではなく、今後の魅力あるまちづくりまちに力を入れ、人口減少を食い止めなければと思った。 ② 農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室 課長補佐 中村秀樹氏に、国の方向性のお話をいただき、また、瀬戸内市の問題について、なにか有効な手立てはないかをお聞きした。



個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理、この3本柱が鉄則なのは重々承知している。予算もそれなりについて回している。

I CO技術の発達によって、人手不足の緩和など、新たな展開の勉強になった。そこに、お試しの予算もあるみたいなので、瀬戸内市でも手をあげられるのではないかと思う。

また、瀬戸内市としてまだ取り組めていないのが生息環境管理、里山の整備だが、ここにも生息情報調査や被害状況調査という名目で予算がもらえる可能性もある。人が動くとも予算が必要になってくる。県と連携をとりながら、瀬戸内市にとって必要な情報をキャッチする必要性を感じた。